

キリスト教保育

年主題 しゅイエスとともに

論説

子どもがうれしいと感じる
保育者との対話(2)

矢野キエ

巻頭言

受け継がれる愛のかたち

岡田サリー

shuki

7

2026 JULY.

はじめに神は天と地とを創造された。

聖書 口語訳聖書・創世記1章1節

聖書は創世記をもって始まり、ヨハネの黙示録をもって終わっています。一冊の書物を正しく理解するためには、最初の一ページ第1章をよく知ることが大切だと言われます。そして、聖書は旧約聖書39巻、新約聖書27巻からなっていますが、新約聖書と旧約聖書全部で66巻を一冊の書物として読み、理解することが大切です。

創世記は、「元始」の書であるとも言われています。そして様々な「はじめ」が記されています。これらの「はじめ」の根底には「神」が存在しているのです。

「はじめに神」という言葉には、天地創造よりもはじめに神の存在が宣言されているのです。すなわち、神は永遠よりの存在者であるということが力強く告白されているのです。永遠よりの「わたしはある。わたしはあるという者だ」（出エジプト記3章14）である神は、人間の手によって造られたり、人間の思考によって生み出された偶像の神ではありません。天地万物を造られた創造主なる神であります。人間もまた造られたものであって、創造主に代わることはできないのです。

神は何によって天と地とを創造されたのでしょうか。

「神は言われた。『光あれ。』こうして、光があった。」（創世記1章3）とあるように、言葉によって万物を創造された、とあります。

聖書の神は、言葉によって万物を造り、言葉をもって、私たちに語り掛け、応答される人格的な神であります。

口語訳聖書の伝道の書12章1節に「あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ」（新共同訳聖書コヘレトの言葉12章1「青春の日々こそ、お前の創造主に心を留めよ」）とあります。

キリスト教保育に携わる私たちは、幼子に、聖書の冒頭に告白されている造り主なる神を賛美する心を、育てたいものです。

小海 寅之助 執筆（当時・越ヶ谷幼稚園園長）
1973年『キリスト教保育』誌7月号より

新共同訳では「初めに、神は天地を創造された。」（創世記1章1）です。一部省略、要約してあります。

幼子とともにキリストへ



年主題 しゅイエスとともに

幼子とともにキリストへ

目次

〈巻頭言〉 受け継がれる愛のかたち 岡田サリー 4

〈論説〉 子どもがうれしいと感じる 保育者との対話(2) 矢野キエ 6

〈小論〉 心と体を育てる食育 食事の楽しさ・美味しさのために 新出真理 14

聖書に聞く・お話 田島靖則 18

【カリキュラム】

7月 月のねがい表 21

心にとめて 佐々木奈津絵 22

実践報告 愛の光こども園 24

実践からの学び 西川 恵 29

心にとめて 飯田 恵 30

実践報告 高倉ひかり保育園 32

実践からの学び 高田憲治 37

〈私たちの園で…〉

成長が気になりな子どもたち① 38

橋場 隆

絵本のとびら 岸井優菜

〈連載〉 こどもと工作 堀川 真 40

〈連載〉 みことばと保育 大瀧知子 42

図書紹介 鈴木裕美 石川かおる 46

目福口福耳福 近藤 良 47

7月の礼拝のために 加藤早恵 48

礼拝のお話 岸本朝子 49

風 菰田とみ子 編集子 西嶋佳弘 59

連盟だより 60

カット 中畝治子 小鯛みのり 藤安初枝
松成真理子 菰田とみ子 表紙絵 田中慎子

